

所属・資格 総合文化研究室・准教授

申請者氏名 ティモシー・グティエズ

研究課題	オーラル・リピーテッド・リーディングと第二言語の読みにおける流暢さの発達との関係	
研究目的 および 研究概要	<p>視標追跡の研究成果から開発されたリーディングのインターアクティブなデュアルアクセスモデルは、リーディングの流暢さの向上のためには音韻システムが必須であることを示した。日本人英語学習者のリーディング力育成の研究では、簡略化したテキストの多読を通じ、黙読の流暢さが改善されることが示されている。しかし、音を聞きながら音声を出すこと（音読）を通じた音韻システム（すなわち内的スピーチ）の発達、日本人学習者のリーディングの流暢さをどの程度伸ばすことへつながるのかは科学的には示されていない。また、日本人学習者の音韻システムの発達にどの程度テクノロジーによる貢献ができるかについても、これまでの研究による決定的な解明はなされていない。この研究の第一の目的は、日本人英語学習者に音声のインプットと音読のテクニックを合わせて教える中で、音読および黙読流暢さの伸びについて詳細な分析を行うことである。第二の目的は、英語音韻システム、ひいては英語運用能力の発達をねらいとする、様々なコンピュータ・ベースのソフトウェアを利用した学習の成果を描写することである。</p>	
報告の概要	<p>私は参加者のリスニングの流暢さを向上させるために設計された広範囲のリスニングトレーニングの効果を確認するために、この1年間の縦断的な予備調査研究のデータを集めました。より具体的には、大量の総合的な聴覚入力を聞くことによって、英語音声認識のプロセスは自動化され、参加者は話し言葉、フレーズ、構文、および会話をより流暢に理解できるようになったかどうかということです。参加者から以下の定量的データを集めました。4月と1月に、TOEICのリスニングとリーディングのテストスコアを集めました。縦断的に、私は参加者が4月から7月と9月から12月の2つのトレーニング期間中に聴いて過ごした時間からログを集めました。これらのログは、本を聴くのに費やされた時間、本にアクセスするのに費やされた時間、本の単語数、そして物語に対する参加者の理解度を測定するクイズで構成されていました。私はまた毎週のセッションの後に大規模なリスニングトレーニングについて参加者からのフィードバックを集めました。2つのトレーニング期間、7月と12月の終わりに、私は参加者からトレーニングに対する印象について定性的データも集めました。</p>	
要 の 考 察 ・ 反 省	<p>TOEICと同等のリスニングスコアを比較することで、大規模なリスニングトレーニングによって参加者のリスニング能力が向上したかどうかを判断できます。同様に、TOEICの同等の読書スコアを比較することによって、大規模なリスニングトレーニングが参加者の読書能力を向上させたかどうかを判断することができます。参加者間のリスニングに費やされた時間を分析することによって、参加者のリスニングの流暢さを向上させるために理解ベースのリスニングがどれだけ必要かを正確に判断することができます。参加者のログを分析することで、どのくらいの生徒が広範囲のリスニングトレーニングに関わったか、そしてどの参加者の行動が広範囲のリスニングへの関与と相関しているかを判断できます。理解度が低ければ、その資料が理解できなかったことを示している可能性があります。聴取率が低いということは、物語を一回聴くだけでは聴取を理解しやすくするのに十分ではないことを示している可能性があります。</p> <p>閲覧記録と参加者のフィードバックを分析することで、参加者がどのような観点から参加を促したのか、どの側面が参加をやめさせたのか、そして複製調査のためにどの側面を変えるべきかを判断できます。私は今後もこの研究を繰り返し行うつもりですので、リスニング教材、リスニングとリーディングの流暢さの尺度、そして参加者の治療教材への関与を測るための道具を改善し続ける予定です。</p>	

<p>研究発表 学会名 発表テーマ 年月日／場所</p> <p>研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者</p>	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表 全国語学教育学会多読分野別研究部会「JALT ER SIG」の10th Annual Extensive Reading Seminar 学会 The first semester of an extensive listening curriculum: An in-progress report 10月14日／広島 YMCA (ひろしま ワイ・エム・シー・エー)</p> <p>研究成果 なし</p>
--	--